

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 5 月 8 日				
児童発達支援 チャレンジキッズ 江戸川台教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	仕切りを使い、環境を整えて取り組んでいる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	子どもの課題にあった個別対応をしている	・個別対応の子どもが増えた場合足りない ・もう少し余裕がある配置だとより安全で質の高い療育ができる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	室内はシンプルに、必要なスケジュールボード以外は置かないようにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	衛生面には気を配っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		開業1年未満で今回初めての評価を実施したことで課題も見えてきたので対応していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		今後、検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		毎日の業務でいっぱいになっているので、時間を作っていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	十分な時間を費やして聞き取り、計画を立てている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画に沿って話し合いのもと、活動内容を組み立てている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		経験の浅い職員には皆で意見を出し合って協力している

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	様々な意見を取り入れている	今後も向上心を持って学んでいきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	広い訓練室で十分な環境である	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	急な職員の休みは、内容を変更し、安全に過ごせるよう工夫した	もう少し余裕を持てればと思うが、現状厳しい部分がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	個人ファイルを活用するようにしている	連絡帳に使う時間を有効に使って、振り返りの時間を確保していきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	支援の仕方、対応など子どもによって違うので、個別ファイルに記録するようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	保護者の都合に合わせた時間を設定している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保育園・幼稚園と連携して情報共有をしている	職員に十分に伝わっていない部分があったようなので、改善したい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	引継ぎを行い、小学校と情報共有をしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1		児発管だけで、他の職員が関わる機会がないと感じている
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		今後、同じグループの保育園と連携する方向で考えている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳やメール、電話で対応している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		行っているが知らない職員もいたようなので、全職員に周知されていないと感じた
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1		行っているが知らない職員もいたようなので、全職員に周知されていないと感じた
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的に行う面談の他に電話での相談に乗っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		次年度検討する
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保護者からの相談は、電話やメール等ですぐに対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	5		その都度手紙で対応しているが定期的な発行はないので、健康面や家で過ごす際の関わり方などの会報があると良いと思う
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵のついた棚に保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	保護者の気持ちに寄り添い、言葉を選びながら対応している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		今後の検討課題だが、一度にイベントは増やせないで少しずつ地域に開かれた事業所を目指していきたい
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント時に必ず確認し、書面でも記載してもらっている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギーの確認は行っている。過去に卵アレルギーがあったという児が数名いるが現在は改善されて除去などの対応する児はいない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	5	避難所については知らせ、緊急時の連絡先も把握している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	5		ヒヤリハットについては全職員に改めて周知する
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修で何度も確認している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	研修で何度も確認している	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 チャレンジキッズ 江戸川台教室			
○保護者評価実施期間	2025年3月7日 ～ 2025年4月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年3月7日 ～ 2025年3月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月の避難訓練や職員研修を全員が参加して取り組んでいる	想定できる全ての内容で行い、職員訓練も積極的に継続して行っている。	事業所で行っていること（避難訓練など）が保護者に伝わっていないことが残念なので、保護者会やお便りなどを通して伝えていきたい。
2	連絡帳で日々の取り組みを丁寧に知らせている。	写真や活動の様子を詳細に伝え、ねらいや課題、今後についても伝えるようにしている。	連絡帳を見ていない家庭もあるので、必ず目を通していただくよう、連絡を取っていく。
3	お子様の様子の振り返りやグループ、個別活動の内容の共有をしている	意見を出し合って内容を決めたり、新しい職員にアドバイスをしたり相談に乗っている。	取り組む内容を充実させるために研修を受けたり、向上心を持って仕事に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職がいないこと。	研修を受ける時間が確保できないことや専門職からにすぐに対応できる体制が整っていない。	専門的な知識を得る為に日々の振り返りや研修を受けるなど、積極的に学ぶ姿勢を持つ。
2	会議の時間の確保ができていない。	日々の仕事に追われてしまっているので、十分に時間を取ることが難しい。	時間を有効活用できるように予定を立てていく。
3	地域に開かれた事業所という点に欠けている。	オープン1年目だったので、地域より事業所内の充実を最優先した。	今年は保護者会を開催して、まずは保護者間の交流を図る。徐々に保育園や地域の交流を考えている。